

2018年度事業報告

I. 研究発表会、講演会等の開催

1. 日本心理学会第82回大会

期日：2018年9月25日(火)―27日(木)

プレコンベンション学術交流会 9月24日(月)

会場：仙台国際センター

大会会長：行場 次朗（東北大学教授）

2. 公開シンポジウム

(1) 「社会のための心理学」シリーズ

(a) 認知症医療への心理学的貢献<全2回>

第1回 期日：10月7日(日)

会場：京都女子大学

第2回 期日：12月9日(日)

会場：日本大学文理学部

(b) 心理学で冤罪を防ぐ：司法的判断における認知バイアスの影響<全2回>

第1回 期日：10月13日(土)

会場：京都女子大学

第2回 期日：11月10日(土)

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス

(2) 「科学としての心理学」シリーズ

(a) 消費者の心理をさぐる<全2回>

第1回 期日：11月17日(土)

会場：青山学院大学青山キャンパス

第2回 期日：2019年3月16日(土)

会場：東北大学川内キャンパス

(3) 高校生のための心理学講座

全国14か所（北海道医療大学（9月22日）・東北大学（8月8日）・宮城学院女子大学（9月22日）・江戸川大学（10月14日）・青山学院大学（8月21日）・新潟大学（9月30日）・関西福祉科学大学（2019年3月24日：台風のため7月29日より日程変更）・立命館大学（8月21日）・神戸学院大学（8月10日）・岡山大学（9月23日）・広島大学（9月22日）・久留米大学（12月9日）・別府大学（9月17日）・琉球大学（8月18日））

(4) 東日本大震災復興支援特別委員会企画シンポジウム

災害の後に人の心はどう動くか——被災された方や支える方のためのフィード・フォワード

期日：11月18日(日)

会場：広島大学 東千田キャンパス

3. 第82回大会時日本心理学会企画シンポジウム等

(1) 英語論文投稿への道 2018（企画：機関誌等編集委員会JPR編集小委員会）

(2) こんなジェンダーのはなし―「男らしさ」「女らしさ」の多様性をめぐって―

（公開／企画：教育研究委員会 講演・出版等企画小委員会）

(3) 心理学を広くひとに伝える―さまざまな発信のかたち

（企画：教育研究委員会 博物館小委員会）

(4) 東北大学の歴史遺産から日本の心理学史を考える

（企画：教育研究委員会 資料保存小委員会）

- (5) 災害復興と心理学（公開／企画：東日本大震災復興支援特別委員会）
- (6) シチズン・サイエンスを通じた“心理学の再現性の危機”への挑戦——認定心理士の会の新たな取り組み——（公開／企画：認定心理士の会）
- (7) 若手ワンショット発表会とプレゼンバトル（企画：若手の会）
- (8) 日本心理学会若手の会キックオフシンポジウム：若手にとってこれから必要なこと（企画：若手の会）
- (9) 若手のための進路相談会（企画：若手の会）
- (10) 感情をめぐる二つのアプローチ：哲学と心理学
- (11) Webを利用した調査・実験研究をめぐって
- (12) 公認心理士の養成は今後どうあるべきか：公認心理士養成大学教員連絡協議会の報告をもとに（公開）
- (13) 公認心理師・心理学研究者の潜在的フィールド—広がる活躍の場と求められる知識・技術—（公開）
- (14) 心理学検定と心理学教育（企画：日本心理学諸学会連合）
- (15) 融合社会脳研究の創生と展開（公開／企画：日本学術会議「脳と意識」分科会）
- (16) 日本心理学会留学生ネットワーク（仮称）設立に向けて
- (17) ICP2016記念事業シンポ “The Psychology of Globalization”
- (18) 日本・韓国・中国三カ国会議：災害のあとの心理学的支援
- (19) 人類の持続的発展に必要な「心理学2.0」—AI・ロボティクスとの対論（企画：日本学術会議「心の先端研究と心理学専門教育分科会」）
- (20) 日本心理学会におけるジェンダー平等の現状と課題（公開）

II. 学会誌、研究報告書及びその他の資料の刊行

- 1. 「心理学研究」第89巻第1号—6号
- 2. “Japanese Psychological Research” Vol.60, No.2—No.4 & Vol.61, No.1
- 3. 「心理学ワールド」第81号—第84号
- 4. 「心理学叢書」の刊行
「心理学叢書」の企画を行った。

III. 研究及び調査の実施

- 1. 大学の心理学教育に関する調査・研究
2019年度に実施する第2回 大学における心理学教育調査について検討を行った。
- 2. 心理学の歴史的資料の保存・調査
文教大学の古典的実験機器類の調査・撮影を行った。
- 3. オーラルヒストリーの収集
名誉会員へのオーラルヒストリー聞き取りを行い、心理学ミュージアムで公開した。
- 4. 大会論文集J-Stage搭載
第70—75回大会発表論文集をJ-Stageに掲載した。

IV. 国内の学術団体との学術研究協力

- 1. 日本学術会議
公開シンポジウム「心理学で冤罪を防ぐ：司法的判断における認知バイアスの影響」を、日本学術会議 心理学・教育学委員会 社会のための心理学分科会・法と心理学分科会と、また「認知症医療への心理学的貢献」を日本学術会議 心理学・教育学委員会 健康・医療と心理学分科

会と、それぞれ共催した。

日本学術会議総合工学委員会主催「安全工学シンポジウム2018」を共催した。

2. 日本心理学諸学会連合

本会から3名、理事として参加している。

会費および認定心理士承認料を支払った。

3. 日本脳科学関連学会連合

本会から3名、評議員として参加している。

会費を支払った。

4. その他連合体等との研究協力

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS)に加盟した。

V. 国際的な学術研究協力

1. 国際心理科学連合

分担金を支払った。

2. 国際テスト委員会

分担金を支払った。

3. 各国心理学会との研究協力

以下MOU締結団体と協力協定に基づき、連絡協力を行った。

MOU締結団体(締結順)

Chinese Psychological Society (CHN)

Korean Psychological Association (KOR)

Australian Psychological Society (AUS)

Psychological Society of South Africa (ZAF)

Taiwanese Psychological Association (TWN)

American Psychological Association (USA)

Malaysian Psychological Association (MYS)

Swedish Psychological Association (SWE)

British Psychological Society (GBR)

Psychological Association of the Philippines (PHL)

Indonesian Psychology Association (IDN)

Russian Psychological Society (RUS)

National Academy of Psychology, India (IND)

4. 日中韓シンポジウム (I-3-(18))

5. Asia-Pacific Psychology Meeting

VI. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 公益社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考・授与

2017年度刊行の「心理学研究」掲載の原著論文、研究資料、および“Japanese Psychological Research”掲載のOriginal Articleのうちから選考委員会において受賞論文を決定した。プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

<優秀論文賞>

(1) 日本人の回答バイアス——レスポンス・スタイルの種別間・文化間比較——

田崎 勝也・申 知元 (青山学院大学)

(心理学研究 第88巻第1号)

- (2) 脅威アピールでの被害の記述と受け手の脆弱性が犯罪予防行動に与える影響
島田 貴仁 (科学警察研究所)・荒井 崇史 (追手門学院大学)
(心理学研究 第88巻第3号)
- (3) 性犯罪者の犯行の否認・責任の最小化と再犯との関連の検討
高橋 哲・西原 舞 (法務総合研究所)
(心理学研究 第88巻第5号)
- (4) Spatial Correspondence Learning is Critical for the Sequence Effects of Symbolic Cueing
Qian Qian・Feng Wang (Kunming University of Science and Technology)・
Miao Song (Shanghai Maritime University)・Yong Feng (Kunming University of
Science and Technology)・篠森 敬三 (高知工科大学)
(Japanese Psychological Research Vol. 59, No. 3)

2. 公益社団法人日本心理学会国際賞の選考・授与

国際賞選考委員会にて、国際賞授賞者を選考した。プレコンベンション学術集会時に授与式を行った。

- <特別賞> 渡邊 武郎 (ブラウン大学 認知言語心理学学部・終身荣誉上級教授)
- <功労賞> 桑野 園子 (大阪大学・名誉教授)
- <奨励賞> 土居 裕和 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・講師)
榊 美知子 (University of Reading, Senior Research Fellow)
山田 祐樹 (国立大学法人九州大学・准教授)
宮本 百合 (ウィスコンシン大学マディソン校・教授)

3. 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞の選考・授与

第81回大会のポスター発表に対し投票を行い、8件に特別優秀発表賞、28件に優秀発表賞を授賞することを決定した。第82回大会プレコンベンション学術集会時に授与式を行った。

第82回大会のポスター発表に対し選考を行い、10件に特別優秀発表賞、26件に優秀発表賞を授賞することを決定した。第83回大会プレコンベンション学術集会時に授与式を行う。

4. 公益社団法人日本心理学会心理学ミュージアム作品賞の選考・授与

心理学ミュージアム展示室に掲載する作品を公募し、応募作品から優秀作品賞授賞作品を選考した。プレコンベンション学術集会時に授与式を行った。

<最優秀作品賞>

スポーツファンはなぜ熱狂するか？——内集団協力の説明原理——

中川 裕美 (広島修道大学)

<優秀作品賞>

物事の判断は何に左右されている？——心理的距離と解釈レベル——

寺田 未来 (大阪電気通信大学)

5. 研究集会等への支援

29件の研究会へ助成を行った。

6. 国際会議参加者への旅費補助 (トラベルアワード)

16名の国際会議参加者への旅費補助を行った。

7. 災害からの復興のための実践活動及び研究の助成

第3回「災害からの復興のための実践活動及び研究」を公募し、3件に助成を行った。

また、2018年7月—9月に発生した災害に対応して、「大阪府北部地震・西日本豪雨災害からの復興のための実践活動及び研究」を公募し、4件に追加助成を行った。

8. 若手の会

2019年3月31日現在の会員数は、170名であった。

ニューズレター(第3巻1, 2号)を発行した。

コラムリレー第39回—第51回を若手の会ホームページに掲載した。

異分野間協働懇話会(2019年3月4日—5日, アピカルイン京都)を開催した。

第82回大会時企画(I-3-(7)(8)(9))

VII. 資格認定及び研修

1. 公益社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与

2019年3月31日現在までに、総件数3,899件(うち電子申請1,101件)を審査し、3,801名を合格、34名を不合格、64名を保留とした。

必要な手続を経て資格を取得した者は3,620名であった。

(いずれの数も認定心理士(心理調査)同時取得者含む)

2. 公益社団法人日本心理学会認定心理士(心理調査)資格の審査と授与

2019年3月31日現在、総件数65件を審査し、55名を合格、10名を保留とした。

必要な手続を経て、認定心理士資格と同時に資格を取得した者は52名であった。

3. (公開)講演会・シンポジウム・研修会

I-2. 公開シンポジウムおよびVII-4. 認定心理士の会のシンポジウム等として開催した。

4. 認定心理士の会

2019年3月31日現在の会員数: 4,035名

企画セミナー・シンポジウム等

4月21日 Net de 交流! 認定心理士
ストレスについて考える

6月23日 東海支部会シンポジウム(愛知淑徳大学)
発達障がい者と一緒に働くために:
障がい理解のスタンダードとインクルージョンのためのヒント

6月30日 関東支部会シンポジウム(東洋大学)
「被害者」の心理を考える:心の傷をどのように受け止めるのか

7月8日 北陸支部会講演会(福井市地域交流プラザ)
笑えば幸せ——表情豊かにコミュニケーション——

7月20日 Net de 交流! 認定心理士
話し合い(ダイアログ)によるチームビルディング

7月28日 日本学術会議共催シンポ(日本学術会議講堂)
若手アカデミーが考えるシチズン・サイエンスに基づいた学術横断的社会連携

8月11日 九州・沖縄支部会公開シンポジウム(博多シティ会議室)
買い物にひそむ心理学

9月26日 第82回大会時シンポジウム(I-3-(6))

10月13日, 14日 中国・四国支部会市民公開シンポジウム(東広島市市民文化センター)
身近で役立つ心理学 | 未来を創る心理学の活かし方

10月20日 北海道支部会シンポジウム(札幌国際大学)
発達障害と生きる社会:その機序と支援について(仮)

10月28日 関東支部会第2回セミナー(日本大学)
心理学から「化粧」行動を考える:なぜ人は化粧をするのか

11月2日 Net de 交流! 認定心理士
オンラインによるコミュニティの形成

- 11月14日 東北支部会公開講演・シンポジウム(東北福祉大学けやきホール)
「感動空間」を創る発想力の秘密 | 未来へのデザイン——芸術・医療・福祉——
- 11月18日 関東支部会公開シンポジウム (上田駅前)
意識と行動のサイエンス：心理学は人間をどこまで理解できるか？
- 11月23日 東北支部会公開講演・シンポジウム (岩手大学)
ポジティブなこころの科学 | 顔認知の諸相
- 12月8日 北陸支部会講演会 (金沢大学)
人と人との関わりの心理学
- 1月25日 Net de 交流！ 認定心理士
学習理論を実生活で考える
- 2月9日 中国・四国支部会公開シンポジウム (聖カタリナ大学)
職場で生きる心理学—基礎・臨床・現場から—
- 3月3日 北陸支部会講演会 (大学コンソーシアム富山)
集団内の対立とその解決の心理学 | 認知トレーニングは可能か？
- 3月3日 近畿支部会公開セミナー (立命館大学)
心理学の基礎から社会への応用を考える

ニューズレター 2018年度 No. 1, 2を発行した。

シチズン・サイコロジスト奨励賞を創設し、募集を行った。

5. 認定心理士資格と公認心理師資格の調整

資格制度調整委員会および公認心理師養成大学教員連絡協議会の活動を行っている。

公認心理師省令科目の認定心理士科目各領域への対応表 (案)を改訂した。

公認心理師大学カリキュラム 標準シラバス (案)を改訂した。

公認心理師の会の設立と運営に協力した。

VIII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 心理学の普及・啓発のための広報活動

ホームページおよび会員・認定心理士メーリングリストで広報を行った。

Webで「心理学ミュージアム」を更新した。

2. 倫理規程の継続的な検討・倫理問題の解決

倫理委員会にて問題を検討し対処した。

3. 選挙の実施

選挙台帳を発行し、代議員・役員選挙を実施した。

4. 「公認心理師」資格に関する連絡・協力

公認心理師の会の設立に協力した。

5. 100周年記念事業

100周年記念事業を企画した。

6. その他

(1) ICP2016記念事業(国際委員会企画)

(a) 若手・中堅研究者セッション (9月24日・仙台国際センター)

(b) ICP2016記念事業シンポジウム “The Psychology of Globalization” (I-3-(17))

(2) 男女共同参画推進委員会

男女共同参画推進委員会を新たに発足し、検討を行った。

(3) Japanese Psychological Research 審査システムの改訂

以上